

平成26年度 第4回 静岡市スポーツ推進審議会会議録

- 1 日 時 平成27年1月7日（水）14時から16時まで
- 2 場 所 静岡市役所静岡庁舎 9階 特別会議室
- 3 出席者 【委員】（50音順・敬称略）
青木孝輔、池谷孝、石川壽將、太田仁美、大儀見浩介、
瀬戸脇正勝、松崎晃、村越真、山本尚佳、渡辺典子
【事務局】
西ヶ谷隆司文化スポーツ部長、山田裕オスポーツ振興課長、
秋山健ホームタウン推進担当課長、鈴木達也課長補佐兼総務係長、
望月哲也主幹兼ホームタウン推進係長、
望月啓生主幹兼葵・駿河施設係長、高須修主幹兼スポーツ振興係長
齋藤康徳指導主事、佐藤知己主任主事
- 4 欠席者 小川菊治、佐藤伊都子、佐藤栄作、堀和弘、百瀬容美子
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 題 （1）スポーツ推進計画における主な取り組み事業一覧表について
（2）静岡市スポーツ推進計画の構成について ほか
- 7 会議内容 下記のとおり

司会（鈴木課長補佐）

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。それでは、ただいまから平成26年度第4回静岡市スポーツ推進審議会を開催いたします。

次に、毎回のことですが、議事に入る前に確認事項がございます。本審議会の会議録でございますが、静岡市のホームページにおいて公開をさせていただいております。この公開には、会長と委員1名に会議録確認の署名が必要となりますので、ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

それでは、村越会長、議事進行について、よろしくお願いいたします。

村越会長

今の情報公開の件については、よろしいでしょうか。本審議会では、私のほかどなたか一名の委員に、会議録への署名をお願いしております。今回は、渡辺委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。会議録が出来ましたら、後日、内容のご確認とご署名をよろしくお願いいたします。

それでは、会議をはじめるにあたり、本日の出席者の確認をしていただきたいと思います。事務局、お願いします。

事務局（佐藤主任主事）

本日のご出席は15名中ただいま10名のご出席をいただいております。審議会開催に必要な定

足数である過半数を満たしております。本日欠席の小川委員、佐藤伊都子委員、佐藤栄作委員、堀委員、百瀬委員からは、委任状をお受けしております。

事務局からは以上となります。

村越会長

それでは、早速審議に入りたいと思います。最初の審議事項について、事務局から説明をお願いします。

事務局（佐藤主任主事）

事務局より報告させていただきます。今後の推進計画の策定に向けての日程ですが、本日の審議内容を整理致しまして出来るだけ早いうちに、来週中には皆様のお手元にある資料の修正版を郵送にてお送りさせていただきます。それに対してご意見があれば、直接こちらにご意見を頂きまして、直したものを1月27日に教育委員会の定例会があるため、そこに提出致します。その後2月6日に予定されている市の経営会議におきまして説明を行い、3月市議会の報告を経て推進計画が発表されるという流れになります。ですので、ご意見を頂けるのが今日で最後になると思いますので、活発な意見交換をお願いします。事務局からは以上になります。

村越会長

ありがとうございます。そうしますと、素案の修正したものが来週ぐらいに送られてくると、コメントの締め切りがそうしますといつ頃になりますか。

事務局（鈴木課長補佐）

締切はその次の週の25日ぐらいに、出来れば早めに今週中にでも発送するという形をとります。

村越会長

今年度の流れを確認して頂けたかと思います。

それでは、1番目の審議事項である静岡市スポーツ振興計画について、事務局の方で説明をお願いします。

事務局（佐藤主任主事）

事務局からのご説明をさせていただきます。お手元の静岡市スポーツ推進計画素案、静岡市スポーツ推進計画素案に対する意見を使ってご説明させていただきます。11月20日～12月19日までの1か月間でパブリックコメントを行いました。また、同じ期間に市役所内のすべての課に対して意見照会を行いまして、素案に対する意見を頂いております。その結果がこのA4横の資料になりますが、内訳はパブリックコメントとして寄せられた意見が3件、各課から寄せられた意見67件ということで計70件になっております。

修正した部分につきましてご説明させていただきます。それで、皆様にこの内容で問題ないかどうか、ご意見を伺いたいと思っております。

なお、語句・字句の細かい修正につきましては説明を省かせて頂きまして、主に大きく変わっ

た箇所のご説明をさせて頂きたいと思っております。それでは、順番に説明していきます。まず、No. 1、No. 2につきましては、表記の修正についてですので、特にご説明いたしません。表記を統一致します。No. 3のそれぞれ取り組みを誰が実施するのか不明であるということですのでけれどもこれも記載するのが難しいので特に変更は致しません。次に推進計画の2ページをご覧いただきまして中段(1)①利用しやすいスポーツ利用施設づくりでここに、「特定天井等非構造部材の耐震化」を追加したらどうかということで建築総務課から意見がありました。これにつきましては、平成27年度以降に施行予定の公共建築物耐震対策推進計画で対象としているということですので、2ページではなく3ページの1番最後の部分、スポーツ施設の耐震対策の推進という事で載せています。次に2ページの下段のグラフですが、人数の上限がわかりにくいということ指摘がありましたが、数字のデータだけを追加しています。次の6番、学校体育施設利用者の表現について、高い水準を保っていると言えますという言い方にするには、この根拠としているのが4ページの中段にあるグラフですが、ここでは以前平成22年度のもの使用しており、それでは古いということでご指摘を頂きましたので、このグラフを平成25年度のものに変更してあります。7～9番は省略させて頂きます。次に10番、4ページの上から3行目になりますが、アセットマネジメントの基本方針に基づいてというところは、少し踏み込んだ表現にしたいということで、「ライフサイクルコストや…」という文言を加えました。次に11番、Jリーグクラブライセンスに対応したスタジアム整備とはどのような整備であるかという説明が欲しいということでしたので、こちらは語句説明のページを新たに作りまして、先ほどのアセットマネジメントもそうですが、31、32ページでわかりにくい語句の説明を載せています。その中でJリーグクラブライセンスの用語説明を行っています。戻りまして、12番Jリーグクラブライセンス対したスタジアム整備に関する記述を削除または変更ということで、企画課の方から具体的事業名が掲載されているのでここは削除した方がいいとありましたが、こちらはJリーグクラブライセンスに対応したスタジアム整備が必要になりますので、文章が今まではアセットマネジメントと一緒に文章でしたが、別の文章にしてわかりやすくしました。次に13番、4ページの2段落目の最後から1行目「市民一人当たりの利用回数や夜間照明施設設置の状況が他の政令市に比べ高くなっております」という表現について、ここは以前「非常に高くなっていきます」という表現でしたが、非常に高いとまでは言えないのではないかとということだったので変更し、また「市民一人当たりの利用回数」というのも、以前は「利用人数」という表記でしたが、利用人数だとすぐ下のグラフの青い方のデータになってしまい、それだと横浜市や福岡市の方がずっと高いデータになってしまうので、赤い折れ線グラフの「市民一人当たりの利用回数」という表現としました。次に14番、15番中段グラフの政令市の名前が縦書きの方が良いということで、以前の資料は政令市の名前が横書きになっていましたが縦書きにして見やすく変更致しました。16番、調査年度がわかりにくいという意見があったためわかりやすい表記に変更致しました。次の17番は5ページになります。総合型地域スポーツクラブ認知度について、前は棒グラフで示していましたが、帯グラフに変更しました。18番、調査名をわかりやすくしました。19番につきましては、表現の修正ですので、この通りに変更しました。20番は、数字の点が抜けていたところを修正しました。21番は8ページになります。1番上の②のところになります。②の2段落目「市民の総合体育大会」について、削除してはどうかというご意見を頂きました。こちらは推進していることでもありますので、変更はいたしません。22番は、この通りに修正致しました。23番も、表現の修正なのでこの通りに変更致しました。24

番の全体総括として、前計画の総括に加え、時代の潮流や、国、他自治会の動向等を踏まえた方がよいのではないか、というご意見頂きました。この意見につきましては、11 ページの下「(2) スポーツ推進計画について」で、新たな文章を加えまして、国や他の自治体の簡単な流れを説明させて頂いております。この部分だけ読みあげます。「スポーツ振興基本計画が策定されてから、今日までの間にスポーツに取り巻く環境は大きく変化しております。国は平成 23 年 8 月にそれまでのスポーツについて定めた法律であるスポーツ振興法を 50 年ぶりに全部改正し、スポーツ基本法を施行しました。この法律では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことがすべての人々の権限であるとされ、スポーツは、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、わが国の国際的地位の向上等国民生活において多面にわたる役割を担うとされています。この法改正に続き、国はさらにスポーツ基本計画を平成 24 年 3 月に策定しています。この計画を参酌して地方公共団体はその地方の実状に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めることとスポーツ基本法で示されており、他の自治体においても国の計画を参考に、それぞれのスポーツを推進する計画が策定されているところです。本市においても、国の計画を参考にしながらも、前計画であるスポーツ振興基本計画を見直した新しい計画を策定する必要があります。こうした流れの中で…」という文章を加えました。この後の文章の内容も変わっていますが、また後ほど説明します。次に 25 番、特に対応いたしません。次に 26 番、9 ページと 13 ページになりますが、30 代、40 代の働き盛りの世代にスポーツを全くしない人が多く、そこへの対策が弱いということでしたので、11 ページに多少文章を加え、大きく変えたところが 9 ページの真ん中のグラフになります。運動スポーツ実施率ということで、今まではこれに関しては年代のもの、全体のを別々に載せていましたが、全体のを一番上に 10 代から年代別にそれぞれ男性、女性のスポーツ実施率をグラフにしたものを新たにここに載せました。これにより、赤字でグラフの中に書いたものがあると思いますが、20 代女性、30 代女性、40 代男女、50 代男女が 40%に非常に近い数値であることが分かるため、40%前後いる全くスポーツをしない世代、性別に対する対策をしていきたいという事が分かりやすくするように、このグラフに語句を足しました。27 番、10 ページの下の小学校 4 年生、中学校 2 年生男子女子のグラフを棒グラフから帯グラフにしたかどうかというご意見だったので帯グラフに変更しました。28 番は、ご意見でしたので変更はありません。次に 29 番ですが、12 ページの段落「スポーツ推進計画では…」という部分を第一章以降に移動してはどうかというところで、ここが前回のものと大きく変わっています。12 ページをご覧頂きますと、赤い部分が多くなっていますが、2 段目の「こうした流れの中でスポーツ推進計画では…」という段落があります。この段落で、今までは新しい推進計画の柱まで説明していましたが、このあと 13 ページ 14 ページからの説明と 2 重の説明になってしまうのでは、とのご意見を頂きました。ここにつきましては、あくまでもスポーツ振興計画を振り返って、これからはこういうかたちで進めて行くという表現にまとめました。ですので、2 段落目から見て頂きますと、「こうした流れの中で、スポーツ推進計画では、スポーツ振興基本計画の検証を基に、これまでの「環境づくり」、「人づくり」、「プログラムづくり」の 3 つの施策の柱を見直し、「人」に着目して、「観る」、「する」、「支える」という視点でスポーツを推進していくこととしました。「観る」視点では、スポーツツーリズムによる M I C E の推進や、誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催、また静岡市をホームタウンとしたチームと協働した活動を推進します。「する」視点では、子どもたちの体力を向上させる機会を向上させるとともに、運

動をあまりしない世代をはじめ、様々な世代の人たちがそれぞれのライフステージに応じたスポーツ活動ができるよう推進します。「支える」視点では、アスリートや指導者などの養成・資質向上や、大会を支えるボランティアの育成など、全ての人たちがスポーツを行うことを推進するための支援をおこないます。この3つの視点を好循環させることにより、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができ、そしてこの好循環によりスポーツでまちを元気にすることができると思います。」という表現に変えました。その下の図ですが、以前は6本の柱を示していましたが、「観る」、「する」、「支える」の好循環を示す図に変更しました。次の30番、13ページ、連動する計画は静岡市第3次総合計画だけでよいかという意見を頂きまして、関連する計画を載せたいと考えています。実際にスポーツ推進計画が、市の他の計画とどのような関係性があるかということですが、静岡市健康爛漫計画、静岡市教育振興基本計画、静岡市障がい者計画、静岡市高齢者保健福祉計画、静岡市公共建築物耐震対策推進計画こういった計画がスポーツ推進計画と連動してくると思います。次に31番、計画の期間(2)の下に説明文が必要ではないかというご意見頂きましたが、ここではあえてずれて示してわかりやすくしているため、特に説明文の追加はありません。次に14ページ(2)目標について、現状値と目標値を明記するべきではないかというご意見頂きましたが、具体的な数値を載せていますので特に変更はしません。同じく2番の説明文の修正ということで、文章の繋がり方がわかりにくいということでご意見を2件頂きました。文章の校正をして、わかりやすいかたちで載せています。14ページの半分から下の部分になりますが、赤くなっている部分が主にそうした部分になります。次に34番、期待される効果についてですが、期待される効果についての検証をどのように考えているかということですが、振り返りの際に検証を行います、言及した文章を載せていません。次回皆さまへ郵送する際に簡単な検証の方法の文章を追加したいと考えております。次に35番です。15ページと25ページ、「障害者気軽にスポーツに親しむことのできる機会の拡大」を「障がいのある人のスポーツ活動の推進」に変更してはどうか、これは表記する際に「障害者」を「障害のある人」に変更して欲しいという意見と、他のライフステージに応じたスポーツ活動の推進を見て頂きますとわかりますが青年から中高年、高齢者、女性と同じ書き方をしているためそれに合わせるという意見によります。次に36番、施策の柱1文末の「向上」を「創出」にかえたらどうかという事で、16ページの上ですがスポーツツーリズムによるMICEの推進とスポーツ機会の創出ということで、赤字で変えてあります。次に37番、柱3文末の「創出」は「推進」ではないかという意見を頂きましたが、ここについて変更致しません。次の38番、16ページ子供の体力を向上させる機会の創出ところで60年と比較した文章を削除致しました。次に39番、17ページでオリンピック等の合宿以外に誘致活動の表記がないが、ということですが具体的な取り組み事業は現在ないということで今後検討が必要になる課題ではないかと考えております。次に40番、MICE推進の対象に「全国レベルの指導者及び審判員等の養成講習会」を加えてほしいという意見ですが、今後検討させていただきます。41番、スポーツボランティアの育成に「各種競技の審判員の育成」を加えてほしいとご意見を頂きましたが、こちらも検討意見とさせていただきます。42番、18ページ上から4つ目ラジオ体操祭を削除したらいいのではないかと意見頂きましたが、ラジオ体操は気軽にスポーツの推進ということもありますので削除せずこのまま掲載します。43番、19ページのスポーツツーリズム推進事業ということで今までは玉川トレイルレース in 静岡ともみじマラソン、別々事業として載せていましたが、一つにして「オクシズスポーツツーリズム促進事業」として下さいと意見を頂

き、変更しました。次に44番、トランスジャパンアルプスレースに関する内容を追加したらどうだご意見頂きました。確かに本市においても支援している事業でありまして非常に注目度の高いレースになっています。19ページの上から3番目にトランスジャパンアルプスレースの支援ということで追加しました。45番、サッカーを活かしたまちづくりで主な事業名の変更ということで、主な事業名の名前が分かりにくいのではないかとご意見頂きましたが、こちらにつきましては変更しないというかたちにしたいと思います。46番、語句の校正です。47番、文字が抜けていたので修正しました。48番、パブリックコメントで頂いたご意見で、野球に対する取り組みで球団誘致の構想がありながら具体的な政策が見えてこないにご意見を頂きました。こちらにつきましては、今後の検討意見とさせていただきます。非常にありがたいご意見だと思います。今出来る活動といたしましては、やはり市民野球熱の醸成になるかと思えます。次に49番、ホームタウンについて、これは意見で頂いておりますので特に対応はありません。50番、こちらもパブリックコメントで頂きました。ホームタウンについて、東静岡地区にサッカー専用スタジアムを建設して欲しいというご意見でした。ありがたい意見として、今後の検討課題とさせていただきます。51番につきましては、表記の統一ですので、この通りに変更致しました。52番、パブリックコメントとして中学校の部活動の充実について指導員をされている方から頂きました。是非とも教育行政からも考えて欲しいとありがたいご意見でした。特に文章の中で反映させることはありませんが、今後の検討意見とさせていただきます。53番、22ページ、部活動指導員について、学校教育課から平成27年度増員をして、その後の増員計画は難しいということでしたので。増員という表現だけを削除させて頂いています。54番、「民間スポーツ団体の強化育成」を追加したらどうかと頂きましたが、今後の検討とさせていただきます。次55番、23ページ、「健康マイレージ事業」を追加したらどうかというご意見頂きました。これは、関係する課と調整して掲載する予定です。次に56番、表記の統一ですので、この通りに変更致しました。57番、ライフステージに応じたスポーツ活動の推進で、女性のスポーツ活動の推進、なぜ女性だけ推進しているのか。とご意見頂きました。9ページのグラフ、先ほど変えたという話をしましたが、女性が高い部分があることがわかりやすいグラフに変更しています。58番、正式名称に変更しました。59番、25ページに全国障害者スポーツ大会関係の事業が2つ載っていますが、これを一つにしたらどうかというご意見頂きましたが、事業の内容を見ますと、身体障害と精神障害の大会になりますので、一緒にはしないで、欄が離れたところにあったので、位置を移動して上下に並ぶように変更しました。60番、わかふじ大会の説明があった方がよいのでは、ということで説明を加えました。61番～63番につきましては、文章の修正ということですので、その通りに修正します。64番は、追加で障害者スポーツ国際競技大会出場補助金ということで、既に行っている事業を追加で載せて欲しいという意見を頂きましたので、これは26ページの上から4段目のところで新規事業で載せて頂きます。65番、28ページ総合型地域スポーツクラブの育成支援の主な取り組み事業が似たような表現だったので、これをわかりやすく変更致しました。66番、30ページ新規で南アルプス登山道の整備を追加して欲しいということで追加を致しました。67番、自転車のまち静岡を基本理念とした自転車の表記を追加してほしいとご意見頂きましたが、現在まだ具体的に決まっておきませんので、必要に応じて4年後の振り返りのときに取り組み事業の後に加える必要があるとさせていただきます。68番～70番ですが、ご意見ですので特に対応はありません。以上が、頂いた意見をもとに変更した部分になります。基本的に計画で赤くなっている部分は、今までの部分から変更になった部分にな

ります。今からの時間で、変更になった部分についてのご意見頂きたいと思います。説明は以上になります。よろしくお願いいたします。

村越会長

ありがとうございました。

これから、スポーツ推進計画の法案について、みなさまのご意見を頂きたいと思います。おおよその目安として1章ずつと進めていき、特に変更点が多い、序章、三章に時間を割いて、区切っていきたいと思います。では、まず序章に関して、何かご意見ありますでしょうか。

石川委員

12ページが一番下に図が描いてありますが、説明では今までは6つの柱が描いてあったんですけど、それを取った理由はなんですか。

事務局(鈴木課長補佐)

柱が描いていましたが、一章が始まる前の部分ですので、スポーツ振興計画から推進計画に変わっていく予告編というかたちで示しています。その関係で柱の部分は変更させていただきました。

石川委員

これであれば載せる必要があるかなとそういう考え方も一つあるかなと思います。

村越会長

6つの柱に関しましては、当然2章、3章で、15ページに出て来るかと思しますので、そこまでは外しましょうということで、逆に12ページの表が寂しくなってしまう、これは取ってもいいのではないかとこの考え方もあると、その辺どうでしょうか。

松崎委員

前の図ですが、やはりこのグラフに比べて前のグラフが大きく、それゆえに柱が組み込まれる形なんですけど、繰り返しになっても図としてお知らせするという面では、前のパターンの方がたとえ繰り返しになってもいいと思います。

村越会長

少し注意して頂きたいのが、序章のタイトルを見て頂きますと、スポーツ振興基本計画の検証というのがタイトルであって、そういう位置づけであるからこそ、概略を示すといった方がいいというのが行政の考えということですね。

山本委員

9ページの運動スポーツ実施率のグラフの方で、細かく書いてあるのでじっくり見ると分かるんですが、ちょっと色分けなんかも細かすぎるかなと思ひまして、例えば、週1回以上スポーツ

をする人を増えるようにというのが目標になるので、週1回までのところで同系色でまとめた方がわかりやすいかなと思いました。

村越会長

なかなか情報量の多いグラフですね。現状だと紫と青のところで分かれることになりませんか。

青木委員

確かに、このデータの信憑性問うわけではないですが、実際そうなのかなと。ライフステージを考えてみると60代になると定年退職して時間もあるので男性多少は増えるのかなと。その辺もわかりづらいですね。そこまで細かくやらなくても大体でいいのではないかなと思います。

村越会長

この図をもうちょっと簡潔に、またあるいは狙いが解りやすくなるように、整理したらどうかという意見ですね。

青木委員

アンケートってというのは、受けた人によってかなり違うんですかね。これは、県外と比べたものじゃなくて静岡市内の話ですね。

村越会長

はい、静岡市内の市民アンケートということですね。

石川委員

10 ページ上段のグラフにタイトルが欲しいですね。「これからやってみたい運動スポーツ」という事で。他のグラフは、グラフの上にそれぞれタイトルが載っていますので、これも一緒にタイトルをグラフの上に、どういうグラフかわかりやすいようにタイトルを載せて頂いた方がいいです。

村越会長

9 ページ、10 ページの図ですけれど、対応の方はいかがでしょうか。

事務局（佐藤主任主事）

タイトルにつきましては、図にいきます。9 ページにつきましては、今2パターン考えておりました、毎日、週4・5、週2・3、週1のところまで一つにして、あと2週1回、1か月1回も一つに、その他のこの5種類だけにしたグラフにするか、週1回以上のところで前の計画では区分線をいれていましたが、ここでも週1回以上のところで区分線を入れるかのどちらがいいかと思いますが、ここで求めているのが週1回以上のところなので、出来れば週1回以上が分かるようにしたいので、項目を先ほど言ったように週1回以上、1か月、週1～1か月1回、その他の5つにまとめたほうが、ぱっと見では見やすいかなと思います。ここについては、グラフを何

種類か作ってみて、送付する時に入れさせて頂きしますので、それを見た上でご意見頂ければ、多い意見を採用させて頂きたいと思います。

村越会長

ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。

池谷委員

14 ページ市民一人一スポーツところで、週 1 回以上はいいですが 9 ページのグラフで週 3 回以上はどのくらいの割合かなと見てみると分け方が違うため分からない。もう少し整合性が取れていると見やすいのかなと。

村越会長

ただ、これはこういう風に聞いているんですよね。週 2～3 回と。

事務局(鈴木課長補佐)

国の指標がある程度過ぎたときに週 2～3 回から週 3 回に切り替わったものですから、その後に他の自治体も週 3 回というところが少なかったのですが週 3 回のところが増えてきましたので静岡市もそれに合わせようかという事で週 3 回になりました。

事務局(佐藤主任主事)

次回アンケートをする際にはアンケート項目を修正したいと思います。

村越会長

指標の方を変えるわけにはいかないもので、それはしょうがないですね。その辺も踏まえて、図がなるべく目標との関連が分かるように整理して頂ければと思います。

瀬戸脇委員

12 ページの先ほどの表がありますが、まったく同じものが出てくると変な感じになってしまうので、例えばこの 3 つのものを四角で囲むとかこの 3 つか好循環させたいんだというような部分を強調させる、それを受けてどうなりました、とできればいいのではないのでしょうか。

村越会長

特に循環の辺りを強調させるご意見です。では、それも工夫して頂いて、修正のところをお願いします。

青木委員

10 ページの上の方でこれからやってみたいスポーツ、ウォーキングをやりたい人の内訳、例えば男女、50、60 歳以上と分けてやればもっとくっきりと概要がわかるんじゃないですか。定年過ぎてやってみたりとか、学校終わってからやってみたり、男女別でやってみたりしたら、もう少し

しこれが膨らむかなと思います。

村越会長

10 ページの年代別の内訳みたいな感じですね。その辺はいかがでしょうか。データとしてはありますか。

事務局(鈴木課長補佐)

データとしてはあります。ただ、量が多くなるので、9 ページのように見づらくなると困るかなと思います。数が少ない場合、年代別にした際に差がでるのか、逆に表が細かくなりすぎてしまうのではという懸念はあります。

村越会長

人数の少ない部分を年代別に出しても資料としては物足りないですが、特にウォーキングやジョギングなどの 100 人ぐらいのところは、どういう人たちがやりたいのか知りたいですね。そこも、データを見て頂いて、もし年代別の比率が有効でありそうであれば、例えばウォーキングであればこういう年代だろう、特徴的な部分があれば、文章で触れて頂ければいいかなと思います。他にいかがでしょうか。

山本委員

12 ページの「見る」、「する」、「支える」というのは、市民の人たちがそれをする事になっていっていると思いますが、ここの「支える」の文章で全ての人たちがスポーツを行う事を推進するための支援を行います、となると、文章の意味が少しわかりづらくなってしまい、「支援をする」という表現だと行政が支援する感じになると思うんですよ。市民の人達がスポーツを支えるとは意味が違う文章になってしまうのではないかなと思います。

事務局(佐藤主任主事)

この部分は表現を修正をしたいと思います。

村越会長

そうですね、3つの視点のやや文章が長いかなと思います。区切った方がいいところもあるかもしれません。そこも工夫して頂いて。

では次に1章と2章をまとめていきたいと思います。いかがでしょうか。

松崎委員

先ほど新しく配られた資料の13 ページのところですが、5つ連動してやりますよという中で静岡市健康浪漫計画ですが、最後の用語説明に出来れば載せて頂ければと思います。

瀬戸脇委員

同じところですが、この5つの計画が突然出てくるような気がします。「計画の性格」のところ

には特に説明がなくて、言いたいことはわかりますが、ぱっと市民から見たときなぜそれをやっているのか、説明が必要かなと思います。

事務局（佐藤主任主事）

見目のところで追加してしまったところがあるので、計画の性格のところに簡単にほかの計画に連動するような記述を入れたいと思います。

石川委員

今の計画の5つ以外に、生涯学習推進大綱も一緒に載せて頂いた方がいいのかなと思うんですがどうでしょうか。

事務局（鈴木課長補佐）

はい。

村越会長

2章はよろしいでしょうか。14ページの部分はかなり赤が入っていますが、これは文章を明確にするということで、計画の骨子ですので今までの内容と変わっていないと思います。では以上で。3章は、多く追加されている項目もかなりありそうですので、17ページからよろしく願いいたします。

太田委員

17、18ページで、事業概要はすべて記載がありますが、目標の欄が市民体育大会の開催とニュースポーツ大会の開催があって、空欄になっていますがよろしいですか。

事務局（佐藤主任主事）

これは入れてお渡しいたします。失礼いたしました。

村越会長

関連しまして、確か前にも聞いたかもしれませんが、静岡マラソンの満足度の目標が80%なんですけどこれは現状どれくらいでしょうか。

事務局（高須スポーツ振興係長）

第1回大会は若干80%を超えています。

村越会長

現状維持ということですね。

事務局（高須スポーツ振興係長）

マラソンが80%以上というのは、かなり高いハードルでして、なおかつまだ1回大会でしたの

で運営側に不備もあり、ただランナー側は色々な大会に出ていますので色々な大会に比べて客観的に意見を言えますので、そういう中で、また当日想定外の悪天候であったこと、そういう点を踏まえやすくと高く評価できるかなと思います。

村越会長

それを維持していこうという考えですね。その満足度はどういう風にして。

事務局（高須スポーツ振興係長）

静岡マラソンに関しまして、エントリーの方法をランネットというマラソンの専用のサイトがありまして、その中からエントリーをします。その中で、参加者によるマラソンの評価というのがネット上にありますので、参加された方がネット上で評価できるようになっています。

石川委員

実施目標を数字で載せて頂いているのは、とてもいいですが、例えば市民ラジオ体操祭の開催の参加者 2,600 人ということで、これは 2,600 人以上参加して頂きたいという目標でしょうか。その下の蒲原ニューイヤーウォークも 400 人とありますけど、またマラソンの満足度 80%など、この数字以上のことを目標にしている考え方でよろしいでしょうか。そうした時に「以上」という言葉は入れないのでしょうか。

太田委員

今の事に関連して、例えば 2,300 人がキャパの上限であるとか、マラソンにしても思いきり増やしてしまうとわけにもいかないと思いますので、その示し方だと思うんですね。2,300 人が最大で、最大までやるとか、まだ 700 人は受け入れ可能ですよとか、その部分で表現が変わってくると思います。運営側の安全管理も非常に大切だと思うので、出来れば 1 人でも多く参加して欲しいですけど、これは示し方じゃないかなと思います。

村越会長

イベントの性格にもよるといことですよ。多ければ多い方がいいイベントもあると思いますし、適正規模のイベントもありますし。関連して、参加者何人と書いてあるときに、推進計画は 8 年計画なので、最終的にここにいくことが目標なのか、総括したら中間的なところで考えるのか、その辺はどうでしょう。

瀬戸脇委員

多分私が言ったと思いますが、実施目標自体、観点が全部ばらばらなんですよね。満足度 80% になっていたり、人数になっていたり、タイトルそのものがおかしいのかもしれない。継続しているという言葉は、どちらかという継続していきたい、8 年間連続してやっていきたいということだと思うんですけど、それと 80%、800 人はまったく異なる観点になってしまうところがある。

村越会長

もともとの辺りは計画なので目標がいるでしょうという議論があったと記憶にありますけれども、中々こうやって現実に数字が出てきますとそれぞれの性格が違う。関連してご意見ありますか。

おそらく行政ですので、企業と違って何人こなかったらとか、収益率がこうじゃないとダメっという目標だけではないと思います。

松崎委員

キャパがあるものもあり、高ければ高いほどいい数字のものあるので、見込み具合という言葉しか浮かばないです。

石川委員

この実施目標というのは、見る人が見れば関心がある項目ですから、もう一度事務局の方で全体的に見直して頂いて、もう少し突っ込んでいけるものがあれば、そうした表現をしてもらおうとか。全体にちょっと見直して頂いたらどうでしょうね。

村越会長

修正の過程で見直して頂くということで。

瀬戸脇委員

もしかしたら、事業概要と実施目標を合わせて、事業内容の中に実施目標を入れたりした方が見やすいかもしれませんね。性格が違うものが出てきた場合に、同じ項目で並ばない方がいいのかなと思いましたが。ただそうすると見にくくなる。

村越会長

目標の考え方については、少し文章を足してもらった方がいいのではないのでしょうか、こうやって目標を考えたということがなく、唐突で目標が出てくるので、一般市民の方が見た場合、分かりにくいかもしれませんね。

太田委員

市民大会の開催のところですがよろしいですか、多くの市民が散策出来るようコースを選定する、年一回開催する。

村越会長

私が言った文章ですが、どこに書くのはあれですが、全体として実施目標はこういう考え方で、こういうイベントに対してこういう目標を設定します、フォーカス的な目標の設定の指針的な。

太田委員

枠の外に説明文ですか？

村越会長

それがなぜ実施継続なのか、なぜここに数値目標があるか、ある程度納得してもらいやすいのかなと思います。なんとか教室っていうのは、継続することが目標であるというのはわかるでしょうし、集客するイベントでしたら人数が目標になるだろうというのがわかりやすいんじゃないかなと。

青木委員

それに加えて、現状はどうかと書いた方がいいのではないのでしょうか。例えば、静岡マラソンの場合、今現在80%を82%にしたいとか。蒲原ニューイヤーウォークですと、現在350人だけど400人にしたいとか。そういうふうには書けばよりいいかなと思います。

村越会長

ひょっとしたら、意味が解りやすいかもしれませんね。現状を書くという事が。これも、大変ですが可能な項目であれば、書いてあるところもありますね。現状に関して、数字ないし記述でここに入れてもらうと。

石川委員

ただ、そういうふうには表現をしてしまうと、8年間使う計画ですので、ローリングを途中でやるにしても、例えば350人から400人の目標を設定したときに2年、3年に経ったときに古い数字になってしまいますね。その辺のことも考えないといけないですね。

村越会長

当然、「現状（平成25、26）」とかの記述は必要かもしれませんね。どうですか。目標に関して、重い問いかけありましたが、具体的な作業は修正期間にやってみるとして、意見があれば審議会の中である程度言ってもらった方がいいかなと思います。

事務局（佐藤主任主事）

17ページが一番上の第3章、その下が「1. スポーツツーリズムによる…」となっていますが、その間に目標の設定をどういう視点で設定していますという文章を加えさせて頂いて、分かりやすくしたいと思います。

事務局（鈴木課長補佐）

それぞれの担当している課にお願いして、なるべく数値目標を出してくださいと、事業によっては、人数を書けるものもあれば、マラソンのように運営上支障があるものもありますので%で設定する、と、この部分がいろんな形で出てくるのは仕方がないと思います。それを仕方がないを見るか、丁寧な説明を入れるのであれば、目標の設定はこういうふうにはやっていますという話でいくしかないのかなと考えています。

村越会長

量的な面と質的な面もそれぞれ、イベントや企画によってずいぶん性質が違いますから、当然目標の立て方もかわってくると思います。その辺丁寧に説明をして頂ければよいかなと思います。現状に関してどうですか。計画論的から言えば、現状があって、目標があるのは基本ですが。

松崎委員

この見直してというのは、計画的には、4年ごとに見直しするんですか。

事務局(鈴木課長補佐)

そうですね。4年でいくか、役所の関係になりますが、事業で予算を伴ってくるものになると毎年夏ごろぐらいまでにはしっかりしておかないと、となりますが、毎年毎年各課の進捗状況を見てもらいながら、それによっては終わるものもあったり、変わるものもあったり、大きなものもあったりというところで、4年目でやるのか3年目でやるのかということになると思います。

池谷委員

素案のところは40、41番のところはレフリーの事が書かれていて、検討課題になっていますがライセンスの扱いは非常に難しいのでなかなか踏み込めないんですけど、各スポーツ団体が管轄していますが行政として予算をつけたり関与したりすることが難しいと思うんですけど。このトップアスリート育成のところのレフリーと子どもたちの技術の向上には非常に密接した関係がありまして、レフリーのレフリングによって、技術が変わってしまうということがサッカーでかなり言われておりまして、密接な繋がりが必要だと言われていています。もし、検討して頂けるのであれば、そこを深く検討して頂きたいと思います。また、スポーツ指導者の養成の見栄えの問題ですが、レフリーの養成を入れて頂ければ見栄えもよくなるかなと感じがしました。

村越会長

他にいかがでしょうか。現在17、18ページあたりの事が多かったですが。

松崎委員

ここにはないのですが、事業内容の中に情報を発信するとか、こういった教室を行いますとか色々ありますが、団体や協会、学校にはそれなりの道筋で連絡はいくと思うんですが、一般市民にとってこれをどうやったら知れますよというような事はここに載せる必要はないんでしょうか。

村越会長

スポーツ情報の発信と言うことですね。その辺りはどうでしょうか。

事務局(鈴木課長補佐)

28ページ、計画の段階ですがスポーツナビシステムというものがあまして、出来れば一つのホームページを見れば全てのものが見れる、市でやってる教室やスポーツのイベント、ホームタウンチームの情報とかが1つで見えるホームページ、例えば東京、横浜などでやっています。そ

んなことが出来るかどうか、今後検討して、せっかくいい大会をしているのに市民の方はまったく知らないこともあるので、それを埋めていくシステムを検討していきたいなと思っています。

村越会長

これは、スポーツ振興課の方で？

事務局(鈴木課長補佐)

これから検討ですが、横浜市の体育協会が作っている例もありますので作って頂くことも一つの手かなと。それを平成28年4月で予定しています。このところはまだそこまで行ってないです。今はHPにリンクを貼るなどその程度になるかもしれませんが、もっといいものが出来ればいいなと思っています。

村越会長

細かいことですが、今はスポーツナビシステムで「研究」となっているんですけど、情報提供が開始されるようになっていけば、別に「研究」ではなく「構築」というか、もう一步先の表現でもいいと思いますが、その辺りに何か意味があるのでしょうか。

事務局(鈴木課長補佐)

課の中で少し検討してみます。

村越会長

そろそろ時間が近づいてきましたが、他にご意見ある方いらっしゃいますか。

30ページの南アルプス登山道の整備ですが、スポーツツーリズムの方なのかなという気がしますが、施設と言えば施設、環境と言えば環境ですけど、方向性的にはMICEの方かなと思います。どうでしょうか。

事務局(鈴木課長補佐)

最初は入っていなかった事業ですけど、担当する中山間地振興課さんから整備をしていくという事で施設に入っています。

瀬戸脇委員

29ページのスポーツ環境の整備の方は施設の長寿命化が入っていますね。

事務局(鈴木課長補佐)

アセットマネジメントの考え方がありまして。ただこの表記だと全部の事業が施設の長寿命化にかかってくるように見えてしまうかもしれないですね。

村越会長

これは行政の内部の考え方が強く、見出しに出てきているということですよ。確かに他との

整合性で言えば、少し違和感があるので、むしろ本文にこれからのスポーツ施設はこういうところが重要だという意味で入れて頂いたほうがすっきりすると思います。

堀先生がいらっしゃらないので、代弁するようなかたちになりますが、22 ページの部活のところを実施目標が入っていませんが、入るとなるとどんな目標になるのでしょうか。これは教育委員会ですか。

事務局(鈴木課長補佐)

学校教育課ですね。

村越会長

出てきたものが入るとのことですね。

村越会長

3章に関して他にありますか。特に3章がなければ、もう一度全体を通して、意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

太田委員

31、32 ページはすごくありがたいです。なじみのない言葉、専門的な言葉がいくつか出ているので、こういった形で説明があると読みやすいかなと思います。

村越会長

どうでしょう。全体として細かいところでも構いませんので。

池谷委員

障害者の「がい」という文字をひらがなにしたり、漢字にしたりするのが業務によって違ったりするんですけど。

事務局(佐藤主任主事)

ここは事業名の部分がありまして、事業名だと最初から例えば全国障害者スポーツ大会だと漢字になっています。また25 ページの障がい者スポーツ教室は、これは障がい者のスポーツ教室なので固有名詞になっていません。そういったものに関しては「がい」の部分のひらがなにしてほしいと担当課から言われています。

瀬戸脇委員

法律用語だと「がい」が漢字を使ったもので、それに関しては学校関係全般で変更できないんです。「害」っていうのは、いいイメージがないのですが根本の法律で「がい」を漢字で使っているものですから、国の政策には、「がい」は漢字で使っています。一般のものは「がい」をひらがなを使っています。逆にチャレンジドという言葉を使ったりして、障害という言葉を出さないようにしています。

委員

25 ページの下の方に()でくくってあるのは特有のもので、一番下の障害者スポーツフェスティバルっていうのは、これは_____じゃないんですね。

事務局（佐藤主任主事）

ここに関して、障害福祉課から訂正がなかったのでおそらくこの名称で決まっていると思います。

委員

今みたいな説明をうけるとわかりやすいですが、パッと見た人が誤字じゃないかなと思ってしまうのではないのでしょうか。

委員

障害をもつという言い方と障害があるという言い方がるんですが、一般的には障害をもつという言い方はしないです。もたないっていう事が出来ないですから。障害がある、ないという言い方をします。

委員

他によろしいでしょうか。中身の体裁は、こういうかたちに最終的にも出来てくるのでしょうか。

事務局（鈴木課長補佐）

あとこれに写真を載せたいと思っています。

委員

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

修正版が出来た段階でご意見頂くチャンスだと思いますので今日多岐にわたってご意見ありがとうございます。それを事務局で反映して頂き、それを皆さんに郵送で送付することになってます。

それでは本日の審議についてこれで終了にしたいと思いますので、次にしだい?の3、その他です。事務局の方、お願いします。

事務局（佐藤主任主事）

はい、冒頭にも申し上げましたとおり、本日の意見を反映させたものを出来るだけ早い段階で皆さんのお手元に届くように郵送させていただきますので確認していただきましてご意見がありましたら事務局までお願い致します。その際、意見の方が、例えば同数ぐらいの場合、その際大変恐縮なんですが会長である村越先生にご意見伺いまして、それで意見を決めさせて頂きたいと思っております。ご了承ください。書類の方にいつまでにと締め切りを明記いたします。事務局からは以上です。

委員

その他に、事務局でさらに加えてあるいは委員の皆さんからの連絡事項ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、これで本日の議事はすべて進行しましたので、以上で終了したいと思います。ご協力ありがとうございます。

司会（鈴木課長補佐）

ありがとうございました。また、長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。本日の会議録でございますが、会長並びに渡辺委員に内容等を確認し、ご署名をいただいたうえで、静岡市ホームページに公開させていただきたいと思っております。改めてご了承くださいませよう、よろしく申し上げます。

それでは以上をもちまして、平成26年度第4回静岡市スポーツ推進審議会を終了いたします。お疲れ様でした。気をつけてお帰りください。